

あいか隊新聞

Vol. 103

2021年11月25日
編集者：松川 友哉

片山

治部

大石

松川

篠田

脇元

前川

まつわやんのホウレンソウ

報告者：松川友哉

〔霜月〕

● だい報告

十月三十日（土）にキャンプ場にて、移住者交流イベント「和知野川キャンプ場で遊ぼう」を開催することができました。焚き火・スラックライン・出店など、自由に楽しい時間・空間でした。ご参加・ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

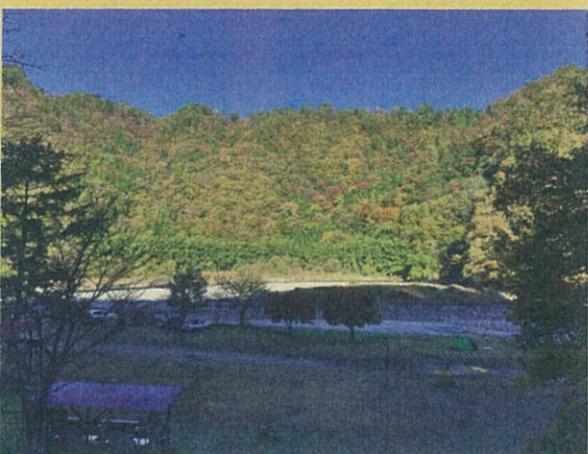
● だい連絡
今年度より、十一月以降も和知野川キャンプ場は、営業しております。冬キャンプシーズン到来です。

● だい相談
薪を販売いただける方いらっしゃいませんか？タガ詰めしていくなくても構いません。引き続き村内を回らせていただきます。キャンプができるような場所をウロウロしたいと思います。よろしくお願いします。

（松川編集：090-4549-3223）

● 和知野川キャンプ場 営業日：土・日・祝
営業時間：午前9時～午後6時
村内のお茶・肉・野菜・氷・キャンプ用品など販売中

11月より小幡厚子隊員が
加わりました。
総勢8名で活動して参ります。
よろしくお願ひします。



はじめまして。11月1日より、主に神原地区中心に活動させて頂く事になりました。天龍村との関わりは、4年ほど前に秘境駅のテレビ番組で存在を知ったところから、移住目的で役場に電話をしたのが始まりでした。初めて村に訪れた時に村民の皆さんとの温かさにハートを驚掴みにされ、訪れるたびに天龍村の魅力にハマつて行きました。私は自身は、「自身の末病の克服と父の癌闘病」がきっかけで、分子栄養学や予防医学を学び、薬や病院のお世話になります。天寿を全うする為には何をしたら良いかを学んできました。「人は食べたものでできている」、日々どんなものを食べ、どんなものを飲み、どんな空気を吸うか、そしてストレス過多にならない環境が、健康な心身の為にはとても重要なと分かり、それらがそろう「里山」に大きな価値を感じ、移住を決意するに至りました。来年の夏までには、おきよめの湯の前に多目的カフェをオープンする予定で準備をしております。村内外の皆様に喜んで頂き、お役に立てるような拠点づくりをして参りたいと思います。どうぞ宜しくお願ひ致します。



十一月の活動内容



朝晩の冷え込みが厳しくなつてきましたが、紅葉がとてもきれいな季節となりました。自身の活動としましては、えごまの搾油にむけた作業を行い、天龍村歴史までの活動につきましては順調に進んでいます。

畑について

今月の畑での活動は、先月収穫したえごまを脱穀して乾燥させる作業を行いました。これから搾油をしていくところです。また、ほうれん草と小松菜の種まきをしました。

天龍村歴史まとめについて

まとめた内容が文章だけであると、読みづらいのではないかと考え、元・協力隊の前田さんにイラストの作成を依頼しました。また、内容に一貫性をもたせるために、日本中世の通史を勉強しました。来月は長野県の中世史を勉強していきたいと思います。

天龍村は、中世の歴史資料として「熊谷家伝記」が残っています。この貴重な資料から当時の人々がどのように考え、感じ生きていたかを想像することは、樂しいものです。中世の歴史では、一見自分と遠く離れた過往の出来事のようにも感じますが、読み込んでいくうちに自分と同じように悩み、生きていたと知ると、案外資料のなかから自分の悩みの解決方法が見つかるかもしれません。

素晴らしい暮らし



(記 片山 素晴)



庭に2本、柿の木が生えています。食害や生理的な落葉で道や庭を汚すことの多い柿ですが、時間のない日の朝食や間食に2、3個採って食べたりと何かと重宝しています。ビタミンC、タンニン、カリウムなど、抗酸化作用や高血圧の予防・改善の効果が期待できる栄養素が含まれており、40を過ぎて高血圧ぎみになつた私にはうれしい果実です。せつかくおいしい実をつけてくれているので、来年多くの実をつけてもらえるよう、「この冬からは手をいれて枯らさないようにしていい」と思いました。

10月31日をもつて、今年度の大河内森林公园キャンプ場の運営が終了し、延べ508人のお客様に「ご来場いただきました。1年限りではありますでしたが、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

日々ここうしん

脇元まゆみ

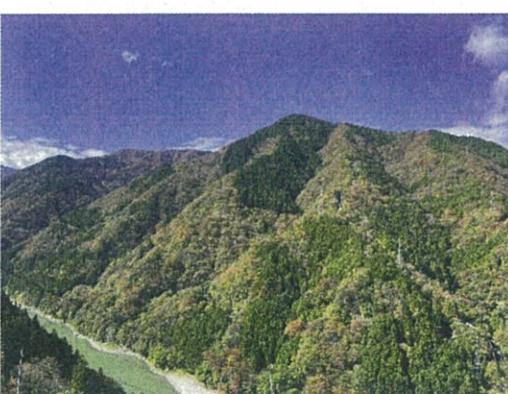


十一月に入り、朝晩の冷え込みがグッと厳しくなりましたね。山もすっかり秋景色。木々の紅葉だけでなく、柿や柚子など、いろいろなものが色付いて、春や夏とはまた一味違った華やかさを感じます。澄んだ空気も、季節の流れを実感させてくれます。

鮮やかな紅葉も枯葉舞い散る季節から段々と寒さが厳しくなってきそうな雰囲気ですね：鹿児島生まれの私は初めての冬の天龍村がどうなるのか？？不安でいっぱいです：）10月は9月の後半に撮影した映像を整理し、編集してユーチューブやフェイスブックでメイキング映像の配信を始めました。まず第一弾としておきよめ協議会の方々との打ち合わせの様子を配信しております『YouTubeチャンネル・天龍おきよめプロジェクト』と言われても、ご覧になれない方もいらっしゃると思うので：今後、村のケーブルテレビでも放映できるようにしていきますので、お待ちください。

11月1日には、大河内キャンプ場でPR動画で使われる曲（作曲・藍羽さん）に参加してくださつてのプロの演奏者の篠笛・藍羽さん、太鼓・吉村靖弘さん、二十弦箏・杉浦充さん、舞・小島千絵子さんの撮影を行いました。綺麗なロケーションでの撮影で参加してくださつた演者の方々も楽しんで演奏されていました。この模様も追つて発表していくのでお楽しみに：

天龍村に来て3ヶ月が過ぎましたが、なかなか村の方々との交流もできずにモヤっとしています。私は畠仕事などの経験がないのでなかなかお声もかけて頂けないのかなあと思つてますが、思ひでできる事：限られてるとは気軽にお声かけ下さい。



十月からの活動（文・篠田 大樹）



お茶の製枝や草刈り、肥料まきといった基本的な作業は十一月頭で無事終えることができました。今後は茶畑周りに伸びて日陰を作っている木や竹を切るなど環境整備を進めていきたいと思います。紅葉は十一月初旬から中旬にかけて見頃でした。ていざなすは収穫の終わりを迎えています。八月の長雨などの影響でこの十年で一番不作だったと言われるほど不作だったのでは残念でした。来年はもっと獲れるよう、備えもじっかりしたいと思います。ていざなすの卸先である中華料理屋の四川飯店や豊洲市場に組合で視察に行つたのもいい経験になりました。また、十月からイベント出店も多く、名古屋で行われた長野県の特産品をPRするイベント信州バルではタレントの峰竜太さんとご一緒させていただきました。激励のお言葉ももらつたので励みに頑張つていきたいと思います。

文：治部 太一

一月一日から狩猟期間が始まりました。これまで、有害鳥獣の捕獲作業に同行していましたが、これから時期は、自分に必要な分だけ、山の恵を頂こうと思っています。野生動物との知恵比べを行うことができるのは、お金には替えられない贅沢な時間だと考えています。じっくりやろうとは考えていますが、そうは言つても行き当たりばつたりでは徒労に終わりますので、獣道にトレイルカメラを設置しています。どんな生き物が動いているのか撮影しましたので、その一部を紹介させて頂きます。



ハクビシン

裏山にいるオスジカ



チョウセンイタチ

